



YOU ARE THE KEY

あなたが鍵です



会長 佐藤順治 幹事 秋野 忠 クラブ奉仕 吉野 勲 職業奉仕 板垣広志 社会奉仕 小池繁治 国際奉仕 高橋良士 青少年奉仕 丹下誠四郎

出席報告：会員 76 名 出席 49 名 出席率 69.01 % 前回出席率 78.08 % 修正出席 62 名 確定出席率 84.93 %

ゲストスピーチ

世界の農業 (スライドを使って)

山形大学農学部教授

土屋 功 位 氏



1968年に文部省在外研究員に選ばれ、3ヶ月間欧米各国を視察したが、この旅行で1人旅の要領と楽しさを覚え、その後はせっせと貯金して一定額に達すると未知なる地域に出かけ、これまで延べ11ヶ月、35ヶ国

を訪問した。

本日は短時間の講演なので、ほんの一部を御紹介します。

米国のカリフォルニアでは稲作、果樹、トマト収穫などを見学した。トマトの大型収穫機には10~15人ほどの作業員が乗っているが、これらはベルトコンベアで運ばれてきたトマトの不良品を手で除くのが役目である。1戸で300ha位栽培している。この収穫機を開発するため、先ず始めに機械収穫に適するトマトの品種改良を行ったそうだ。農家の人達は日本のトマト消費量に関心を持っていた。

カナダの中央にあるサスカチュアン州は小麦の大生産地であるが、ここでは東西南北に10km間隔で道路が建設されてある。南北の短い方でも地図で調べたら500kmの直線距離である。この道路に囲まれた1区画が1万haで、この中には10~20戸の農家しか

ない。最初は大型機械を駆使しての耕作に感心したが、やがて1日中がたがた揺れるトラクタに乗っているのは大変なことだと思ふようになった。

巨大農業といえばオーストラリア東部の農業地域は、1人で1,000ha位の経営面積も珍しくない。兄弟2人で3,000haの農家の例を紹介したい。半分は畜産で肉牛を放牧している。子牛の分娩時に難産している牛の世話をする他は全くの野放しである。丁度小麦の収穫中で、機械を止める時間が惜しいからと運転席で話を聞かされた。6メートル刈巾のコンバインで1日40haを収穫する。2人で80haだから、500haの面積も1週間足らずで処理する。紅花は山形県の特産だったが、この地帯では1戸で300ha位栽培している。ここの農家の人達からは、日本は牛肉に関税をかけているそうだが、もっと自由に買って欲しいという話を聞かされた。

また、ニュージーランドは人口が300万で、羊が6,000万頭、牛が900万頭もいる畜産国であるが、今はかつての宗主国である英国がE E C加盟でこの農産物を全く買ってくれなくなった。そのため日本が最大のターゲットだということで、パーマストンの酪農公社研究所では日本人の好みにあったチーズの味などを研究していた。

とにかく今の日本は世界中の食糧を輸入して飽食

あなたが鍵です — 会員増強にご協力を!

庄内空港の建設を推進しましょう

の生活をしているが、このような状態がいつまで続けられるかが問題である。地球上の人口はこの100年間で約15億から47億に増加した。これ以上の人口を公平に養うのは可能かどうか。マスメディアの発

達で全世界の情報が瞬時に知られる時代になって、僅かに1.2億の日本人だけが今のような物の豊かさを享受してよいものかどうか、お互いに反省すべき時であると考え。

## 会長報告

佐藤 順治 君

1. 山下和子さんに感謝状を贈ります。

山下さんは大変永い間当クラブの為に協力してくれました。ロータリーの事でわからないことがあれば山下さん、又、ロータリーの事でやってもらいたいことがあれば山下さん、ということで、なんでもお願いをして今日に到ったのでございます。ご本人は今日の例会が最後であります。今日は皆さんを代表して感謝状を贈ります。

### 感謝状

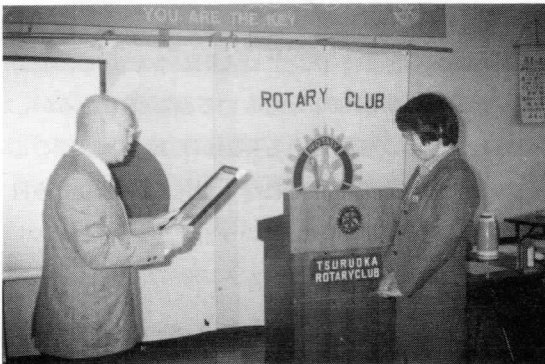
山下 和子 殿

昭和41年より今日に到る20年間の永い間、鶴岡ロータリークラブの事務局として、煩雑多様な業務にご尽力されて、クラブ運営に貢献して下さいました功績は誠に顕著なものであります。

昭和61年3月25日

鶴岡ロータリークラブ会長

佐藤 順治



2. 鶴岡西R.C創立20周年記念式典への参加者は40名になりました。ご協力有難うございました。

3. 次回例会日は4月1日であります。11時30分より定例理事会を開催致します。理事の方ご出席をお願いします。

## 幹事報告

秋野 忠君

○認証状伝達式のご案内

第271地区岩国中央ロータリークラブ

とき 昭和61年6月14日(土)

ところ 岩国市民会館

○創立10周年記念式典のご案内

第253地区相馬東ロータリークラブ

とき 昭和61年4月13日(日)

ところ 相馬市光陽会館

## スマイル

佐々木 喆彦 君 息子が駒沢大学を卒業して、これから1年間永平寺に入山して修業。

松田 士郎 君 長女が短大、二女が南高校へ入学しました。

## ビジター

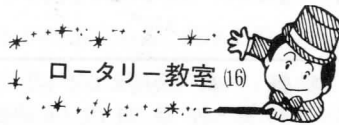
鶴岡西R.C 佐藤 拓君、石黒慶一君  
児玉光弥君



1986～1987年度 鶴岡R.C理事・役員・委員会名簿

理 事	山口篤之助(会長) 市川輝雄(副会長) 吉野 勲(会長エレクト) 庄司嘉男・布施隆夫・中江 亮・塚原初男・佐藤順治(直前会長)
理 事 会	山口篤之助(理事会長) 市川輝雄(理事副会長) 吉野 勲(理事会長エレクト) 庄司嘉男(理事) 布施隆夫(理事) 中江 亮(理事) 塚原初男(理事) 佐藤順治(理事直前会長) 松田士郎(幹事) 風間真一(会計)
役 員 会	山口篤之助(会長) 市川輝雄(副会長) 吉野 勲(会長エレクト) 松田士郎(幹事) 風間真一(会計) 佐藤陸男(S・A・A) 板垣広志(副幹事)

常任委員会	特 定 委 員 会		
	委員会名	委員長名	委 員
ク ラ ブ 奉 仕 (理事)市川輝雄	S・A・A	佐藤陸男	斎藤 昭・常深道則・碓氷節雄
	出 席	佐藤 衛	手塚林治・平出統一
	職 業 分 類	板垣俊次 (3-1)	黒谷正夫・飯白祐佑 (3-2) (3-3)
	ク ラ ブ 会 報	加藤 賢	若生恒吉・高田耕助
	親 睦	藤川享胤	松田貞夫・中田敏和・関原亨司
	雑 誌	白坂 久	鈴木善作・諸橋政積
	会 員 選 考	小松広穂	津田晋介・中野清吾
	会 員 増 強	斎藤庄治	阿部与十郎・嶺岸光吉・板垣広志
	プ ロ グ ラ ム	飯野準治	小池繁治・川村徳男・加藤和一
	広 報	坂本耕一	本山 弥・田中錦造
ロータリー情報	新穂光一郎 (3-1)	張 紹淵・斎藤 隆 (3-3) (3-2)	
職 業 奉 仕 (理事)庄司嘉男		富樫良吉・佐藤友吉・吉野 勲	
社 会 奉 仕 (理事)布施隆夫		佐藤 昇・早坂徳治・佐藤元伸	
国 際 奉 仕 (理事)中江 亮	国際青少年交換	佐々木 喆彦	三井賢二・笹原桂一・高橋良士
	ロータリー財団	手塚 拓	鈴木弥一郎・玉城俊一
	米山奨学会	三井 健	上野三郎・石黒慶之助
	世界社会奉仕	佐藤 忠	三井 徹・佐藤順治
	国際親睦	石川寿男	内山喜一
青 少 年 奉 仕 (理事)塚原初男	青 少 年	迎田 稔 (3-3)	鈴木茂男・秋野 忠 (3-2) (3-1)
	インターアクト	皆川光吉	菅原辰吉・石井敬三・丹下誠四郎
	ローターアクト	山川久喜	阿蘇司朗・忠鉢 徹
備 考	パストガバナー 石黒慶之助 地区委員 国際奉仕委員会国際青少年交換小委員会 新穂光一郎 GSE特別委員会国際親善活動小委員会 藤川享胤		



(ロータリアン必携より抜萃)

## ロータリーとはなにか

ロータリーとは、ひとくちでいえば、世界最初の奉仕クラブ組織です。説明のしかたはいろいろありますが、組織としてみたロータリーとは、ロータリー・クラブの連合会です。世界各地のロータリー・クラブが集まって構成されている連合会は「国際ロータリー」とよばれます。すべてのロータリー・クラブは、この国際ロータリーの会員です。そしてロータリアンとは、各ロータリークラブの会員個人のことです。国際ロータリーの会員といえば、あくまでロータリー・クラブを指し、ロータリアン個人ではないことにご留意ください。なお、国際ロータリーの中央事務局は、米国イリノイ州エバンストンにあります。

ロータリーとは「人道的な奉仕をおこない、あらゆる職業において高度の道徳的水準を守ることがを奨励し、かつ世界における親善と平和の確立につくすことをめざす、実業人および専門職業人が世界的にむすびあった団体である」と正式に定義されています。

一方、ロータリー・クラブとは「奉仕の理想を各人の個人生活、職業生活および社会生活実践の基盤とすることに同意した、実業人や専門職業人によってできたクラブ」と定義されています。

一方、ロータリー・クラブとは「奉仕の理想を各人の個人生活、職業生活および社会生活実践の基盤とすることに同意した、実業人や専門職業人によってできたクラブ」と定義されています。

今日、全世界のおよそ160の国や地域に約2万のロータリークラブがあり、奉仕の心にあつい約90万のロータリアンがいます。各ロータリー・クラブは毎週定期的に会合をひらいています。ふつうの会合では昼食や夕食をともにしながら、おたがいに親しみと友情を深めあい、クラブの運営や奉仕活動の方法、あるいは奉仕の機会などについて話しあっています。

ます。ロータリー・クラブへの入会は、現会員の推薦によってみとめられることになっています。そして、原則として各地域社会にあるさまざまな実業、専門職業から、その業種の代表的人物が1人ずつ会員にえらばれます。職業分類制度とよばれるシステムは、各クラブがその地域社会の各種業界の代表的人物をくまなく会員としてカバーできるようにするためのものです。

ごく初期のころのロータリアンの会合は、知りあいを広め、親睦を深めるという名目でひらかれていました。そして、会員がおたがいに商売、事業などに便宜をはかることがおもな目的となっていたのですが、創始者ポール・ハリスはまもなくこのようなやり方だけでは、多忙な人々を長くロータリーにとどめておくことはできないとさとり、組織が拡大するにつれて、ロータリーの目的をいっそう高いところにおき“超我の奉仕”の理想をうちだしたのでした。そして、各会員がこの理想を、各自の商店、事業所、工場に、あるいは地域社会全体に、さらには他の国々へ広める努力をするようもとめたのです。現在は、ロータリアンとしての特典を、自己の商売上、事業上の利益追求のために利用することは、公式に禁じられています。

ロータリアンは、混乱しているところに秩序をきずきあげ、醜いものを美しいものにかえ、誤解がうずまき、孤独感にさいなまれる社会に、温かい友愛の心をみなぎらせ、貧困と疾病に苦しむ人々に、幸せと健康をもたらすよう努力しているのです。

そして、ロータリーは人種、信仰、政治的信条にかかわらず、すべての民族、すべての国々の国民が、平和と友好の雰囲気のうちにつどえるようつとめています。奉仕という共通の目的をめざす、ロータリアンをむすびつけるきずなは、親睦であり、友愛の心なのです。目的達成の手段方法は違っても、ロータリアンは、この共通のきずなによって強くむすばれているのです。

ロータリーは、対立と分裂をもたらすような活動にかかわることはさけ、共通の利益をおもんじて、おたがいの理解と協力の心をつちかいていくものです。

(次回へ続く)